

踊場地区センター 指定管理者事業計画書			
申込年月日 平成25年 8月6日			
団体名	公益財団法人 横浜YMCA		
代表者名	理事長 山田 尚典	設立年月日	1884年 10月 18日
団体所在地	横浜市中区常盤町一丁目7番		
電話番号	045-662-3721	FAX番号	045-651-0169
沿革	<p>1844年ロンドンで誕生してから40年後の1884年(明治17年)10月18日、キリスト教プロテスタントの横浜海岸教会の青年たちが中心となって横浜YMCAが誕生しました。明治の発足当初より職能教育としての英語学校を始め、大正時代には横浜で最初の室内体育場を持ち、バスケットボールをはじめ市民スポーツの普及にも努めました。</p> <p>2014年度130周年を迎える歴史の中で、一貫して、横浜の地においてその時代に必要とされる地域及び人々の社会的課題に取り組み続けています。1976年(昭和51年度)には「永年の職能教育、スポーツの振興に対する活動」により、横浜市から第25回横浜文化賞を受賞。1984年(昭和59年度)「長年、人間愛の精神に基づく青少年団体としてスポーツ・レクリエーション・ボランティア活動などの先駆的働きと、国際交流活動の推進など地域に根ざした平和づくりの実践によって、神奈川文化の向上に寄与したこと」により、神奈川県から第33回神奈川文化賞を受賞しました。</p> <p>戸塚区においては、1970年代より拠点を開設し、健康教育・語学教育・キャンプなどで青少年の育成を開始しました。以来、現在区内8拠点にて、健康づくり、語学教育、介護予防、保育園、学童保育、キッズクラブ、子育て支援、地域支援や地域の絆を強める事業など、地域ニーズや社会的課題にこれらの事業を通して取り組んでいます。</p>		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な心身の発達のための健康づくり支援事業(健康教育・介護予防等) ・地球市民育成のための語学教育事業(語学教育等) ・職能教育及びキャリア教育を行う専門学校事業(専門学校等) ・子育て支援事業(保育所の運営・親子の居場所づくり・幼児教育活動等) ・学童保育などを行うアフタースクール事業(放課後児童クラブ・キッズクラブ等) ・障がいや不登校などの子どもたちへの教育支援事業(発達障害支援・通信制技能連携校等) ・地域活動事業(地区センター運営等) ・青少年のための野外体験・教育を行う野外教育事業(キャンプ実施等) ・国際・地域協力事業(地域活動支援、国際・地域協力基金等) ・横浜YMCAが運営及び受託する公の施設及びそれに類似する施設 踊場地区センター(横浜市)、鶴見中央地域ケアプラザ(横浜市)※、生麦地域ケアプラザ(横浜市)※、横浜AIDS市民活動センター(横浜市)、横浜市中区地域子育て支援拠点(横浜市中区)、横須賀市立市民活動サポートセンター(横須賀市)※、神奈川県立YMCA三浦ふれあいの村(神奈川県) ※印は公益財団法人横浜YMCAを母体とした関連法人 		
担当者 連絡先	氏名	所属 踊場地区センター	
	電話	FAX 045-866-0101	
	E-mail		

(1) 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

イ 応募団体の業務における踊場地区センター指定管理業務の位置づけ

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 横浜YMCAは、キリスト教精神に基づく青少年の精神・知性・身体の調和のとれた成長をたすけ、奉仕の精神を養うことを目的として、人々が心豊かに暮らすことのできる地域社会をつくっていくため、地域の人々に仕えていく活動を展開しています。主な業務として、健全な心身の発達のための健康づくり支援事業（健康教育・介護予防等）、地球市民育成のための語学教育事業（語学教育等）、職能教育及びキャリア教育を行う専門学校事業（専門学校等）、子育て支援事業（保育所の運営・親子の居場所づくり・幼児教育活動等）、学童保育などを行うアフタースクール事業（放課後児童クラブ・キッズクラブ等）、障がいや不登校などの子どもたちへの教育支援事業（発達障害支援・通信制技能連携校等）、地域活動事業（地区センター運営等）、青少年のための野外体験・教育を行う野外教育事業（キャンプ実施等）、国際・地域協力事業（地域活動支援、国際・地域協力募金等）を展開しています。

イ これまで横浜YMCAは戸塚区内にも拠点を持ち、40年間、健康・語学・保育事業をはじめ、0歳児～高齢者まで幅広い年代を対象に、さまざまな事業活動を展開してきました。人々が心豊かに暮らすことのできる地域社会をつくっていくことを目的に、YMCAの持つ事業活動のノウハウを利用しながら地域のニーズや課題と向き合う活動をしてきました。踊場地区センターの運営は、横浜市の地区センターの指定管理者制度適用第1号として注目を集める中、地域住民のために充実したサービスを提供し、地域のコミュニティ形成にも積極的に参画してきました。地域からの継続運営の声を受け、今後さらに官民連携した公共サービスのモデルとなり、地域の人々と共に歩む地区センターづくりを目指し、継続して踊場地区センターの管理・運営に携わっていきたいと考えています。

ウ 横浜YMCAが管理運営する公の施設その他類似施設は下記の7施設。このほかに、とつか保育園、東とつか保育園をはじめ神奈川県下・13箇所で開催しています。

※印は公益財団法人横浜YMCAを母体とした関連法人による運営

管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市踊場地区センター	横浜市戸塚区	2004年2月	指定管理
横浜市AIDS市民活動センター	横浜市中区	2010年4月	委託・運営
横浜市中区地域子育て支援拠点	横浜市中区	2011年4月	委託・運営
横浜市鶴見中央地域ケアプラザ※	横浜市鶴見区	2007年5月	指定管理
横浜市生麦地域ケアプラザ※	横浜市鶴見区	2012年4月	指定管理
神奈川県立YMCA三浦ふれあいの村	神奈川県三浦市	2006年4月	指定管理
横須賀市立市民活動 サポートセンター※	神奈川県横須賀市	2000年11月	2004年より 指定管理

(2) 踊場地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 横浜市地区センター条例に定められた設置及び利用目的に従い、安全・清潔を重視した施設の管理・運営をしていきます。さらに地区センターの機能を果たしていくと同時に、踊場地区センターが地域力を育み、強化していく働きに取り組んでいきます。

また戸塚区が特に力を入れる下記4項目について、地区センターとして地域との連携を深めながら推進していきます。

1. 「地域の絆」づくりとハートプランの推進……汲沢地域ケアプラザや踊場地区社協と協働しながらハートプランの担い手となり、高齢者や障がい者の支援活動に取り組む。
2. 防災・減災のまちづくりと防犯力の強化……東日本大震災復興支援とともに、地域の家庭防災員等との協働による災害・防災意識向上のための活動の実施。
3. 子育て支援活動……親子サークルなどとの関係づくり、地域の保育園やYMCA保育園との連携を進め、地域子育て支援拠点の一部を担う。
4. 環境行動の推進……節電の展開、ごみ分別の啓発を意図したごみ箱の設置、地域（消費生活推進委員等）と連携した環境行動の実施。

イ 踊場地区は、人口密度が高く、高齢者が多く住んでいる一方で、教育施設として、戸塚中学、戸塚高校、東汲沢小学校及び汲沢小学校があり、多世代が暮らしているまちという特性を持っています。このような地域特性や地域の声に応え、下記の3点を重視した地区センターの運営をしていきたいと考えます。

1. 地域の期待に応える活動の実践
 - ・地域の全ての人々(幼児・小中学生・高校生・大人・高齢者・障がい者・外国人等)に「居場所」を提供
 - ・地域の要望に基づいた新たな活動企画の創設
2. 地域コミュニティの醸成に重点を置いた交流の場の提供
 - ・人々のライフステージを意識した多様な講座・講演会の実施
 - ・特に高齢者が多く住んでいる地域に立地していることを考慮した、高齢者の方々が男女ともに楽しく憩える企画の実践
3. YMCAの実施する公益事業ノウハウの地域展開
 - ・さまざまな地域イベントにYMCAの事業活動のノウハウを提供する。
 - ・地域の人々が充実した時間を過ごすことが出来るよう、年間を通して魅力ある企画事業を展開。

ウ 横浜市地区センター条例に定められた設置、及び利用目的にしたがった管理を行うとともに、地域の人々や利用者の立場に立ち、利用者のニーズに応えられるよう戸塚区と協議しながら、柔軟な施設運営を目指していきます。

1. 日曜・祝日の閉館時間は横浜市地区センター条例3条に定められた閉館時刻（午後5時）を1時間延長して午後6時閉館とします。
2. 地域から特別な要望がある場合などは、戸塚区と協議しながら、時間外でも施設を開放します。
(2012年夏 深夜 ロンドンオリンピックなでしこジャパン サッカーパブリックビューイング開催)
3. 災害時には、戸塚区との防災協定に従い、一時滞在施設として施設を開放します。

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

1. 人員体制・勤務体制について

①常勤雇用は館長1名を含み、基本的に3名とします。

②館長は基本的にYMCAの常勤職員がこれにあたります。

(常勤雇用者3名は、横浜YMCA就業規則に定める通り、1日の所定労働時間は7.5時間
年間休日数は109日)

③コミュニティスタッフ等は基本的に非常勤雇用とし、図書館司書・管理栄養士・教員免許
など教育や福祉に関する資格などを持つ人材を地域より採用します。

(採用人数は14名以内とし1週間の所定労働時間は20時間未満としシフト制で勤務
日・勤務時間帯を定める)

④勤務シフトは1ヶ月毎に館長が作成します。

(横浜市地区センター80館の中でも年間利用者数が多く、団体利用の部屋別稼働も高い
ことを考慮し、常時最低3名のスタッフが勤務するように勤務シフト表を作成する)

⑤安全対応、利用者へのサービスの質を維持することを最重要項目とし、各室の入替時間
(12時・15時・18時)は基本的に4名体制になるようにシフトを組みます。

⑥団体利用抽選日、自主事業受付開始日、自主事業開催日等 来館者・電話の多い日はスタ
ッフの出勤を多くした勤務シフトを組み、サービスの質を維持していきます。

2. 職務分掌・必要な職能・採用の条件等

①主な職務分掌

- ・施設設備管理(全般・各利用室・プレイルーム・図書管理購入・資源回収等)
- ・事務全般(団体利用事務処理・団体利用抽選会・自主事業事務処理・利用人数統計処理・
掲示物・印刷物)
- ・事業活動(自主事業企画・子育て支援活動・障がい者支援・青少年支援活動・学校/地域との
協働・高齢者支援活動・広報関係<地区センターニュース・広報よこはま・プラネット・Y
MCAウェブサイト>)
- ・その他全般(予算管理執行・会計処理・報告書関係・運営委員会・その他地域活動)

②必要な職能

- ・パソコン基本操作 文書(word)・表計算(excel)必須
- ・自主事業の企画運営(必須)及び生涯学習関係の講師を担当できること(が望ましい)
- ・横浜市消防局認定の普通救命講習修了証を取得していること(未取得者は採用後研修)

③採用の条件等

- ・常勤雇用者は横浜YMCA法人本部で採用
- ・非常勤雇用者は上記必要な職能を満たしていることを基準に現地にて採用
(年齢・性別は問わない。国籍は問わないが日本語の日常会話能力は必須)

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

個人情報保護について

定期的に行われる市の指定管理者研修の内容及び、YMCA個人情報管理マニュアルにしたがい、正確且つ安全に取り扱われるようスタッフ研修を行い、周知徹底します。

また、個人情報に関する書類等は責任者が施錠・保管し、OA機器に関しては適切なセキュリティをし、一切の持ち出し、複写を禁じます。

実務面においても、実際の事務所環境に応じたルールを立案・実行することで、漏えい事故の防止を徹底していきます。

また横浜YMCAソーシャルメディアガイドラインにより、ソーシャルメディア利用時のルールや個人情報の取り扱いについても、周知徹底します。

研修計画

1. 地区センターの運営・施設について

- ・年度開始月(4月)に、方針・計画の確認
- ・横浜市地区センター条例、踊場地区センター利用要項の確認
- ・施設管理に関する研修
- ・プログラム企画、開発に関する研修

2. 個人情報保護について

- ・個人情報保護研修
- ・インターネット、ソーシャルメディア利用に関する研修

3. 安全管理について

- ・横浜YMCA安全管理マニュアル確認
- ・踊場地区センター消防計画確認
- ・災害時の施設利用に関する運営について
- ・横浜市防災計画、地域防災について
- ・心肺蘇生法、AEDの使用方法について
- ・不審者対応研修

4. 接遇マナー、人間関係について

- ・ホスピタリティ研修
- ・対人スキル、人間関係トレーニング
- ・グループワーク、チームビルディング

5. 国際理解、平和などについて

- ・国際協力、理解についての研修
- ・平和学習、環境学習等
- ・人権に関する学習

6. 地域について

- ・市民社会とコミュニティ形成など

7. その他

横浜市及び戸塚区の要請に応じて必要な研修を組む

*研修は毎月の休館日(第2月曜日)午前スタッフミーティングで実施、あるいは横浜YMCA全体研修として実施されます。

(3) 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

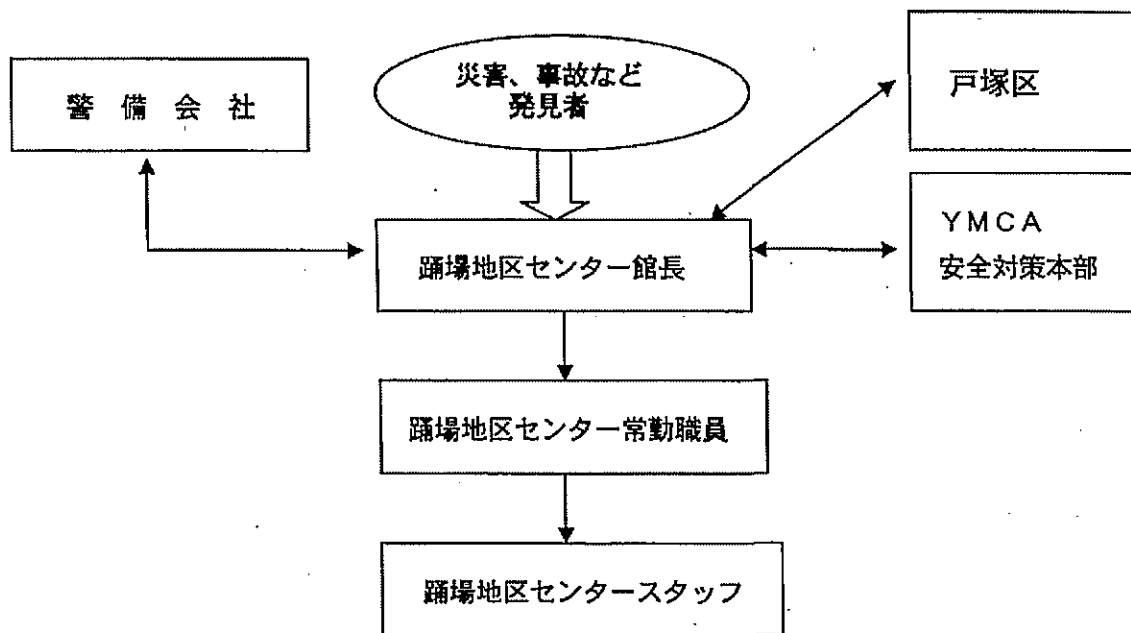
1. 防犯、防災の対応について

- ①夜間・閉館時は機械警備とし、開館時は職員の施設巡回によって防犯に努めます。
- ②災害や事故が起きたときの心得と具体的な措置、行動を定めておき、的確な行動が取れるように日頃より確認と備えに努めます。
 - ・地震防災応急計画の学習 ・避難経路の掲示 ・非常防災備品
 - ・緊急避難場所の掲示及び告知・非常時持ち出し ・出火防止、消火活動
 - ・盗難防止の退館時チェック事項とルールの確認 ・連絡体制
- ③消防計画に添った避難訓練、災害に関しては災害に応じたシミュレーション訓練の実施
- ④基本的な救急救命法・介護法の定期的な研修
- ⑤近隣、関係機関との連携体制の整備

2. その他、緊急時の対応について

- ①関係諸機関への適格、迅速な連絡と報告
(戸塚区を含めたスタッフの連絡網一覧を作成)
- ②迅速な初動対応 戸塚区、YMCA安全対策本部と緊密な連絡体制をとります。
- ③利用者の安全確保、誘導
- ④大規模災害発生時には、防災に関する協定に従い、戸塚区と連携を取り、円滑に対応していきます。

3. 緊急時の連絡については下記の通りとなります。



(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

ア 踊場地区センターは開設から10年目にはいり、地域の核となる拠点として今後さらに地域の期待、要望に応えるような活動を実践していきます。また地区センター施設の管理・運営のみに終始せず、地域との関係づくり、地域支援活動を積極的に実践していきます。

1. すべての人々（不特定多数）に利用しやすい施設環境づくり

- ・来館（利用者）は受付台帳などへの記入は必要なく、入退館は自由
- ・団体利用は登録制ではなく、初回でも申込しやすい制度
- ・ホスピタリティマインド、プログラム企画力向上のためのスタッフ研修の実施
- ・人と人とが繋がることを意図した共有スペースでのプログラム展開

2. YMCAの事業ノウハウを活かした多彩な自主事業の展開

- ・地域特性を考慮した子育て支援、親子の居場所づくり（親子ランド、近隣保育園の出前保育）
- ・高齢者の介護予防、健康づくりの推進（健脳体操、朝のストレッチ体操）
- ・多彩な自主事業からサークル化への支援（地域の中に新たなスモールコミュニティ形成）
- ・自主事業運営に関連したボランティア機会の提供（保育ボランティアなど）
- ・異文化理解や平和教育を地域とともに考える機会として「ピースカフェ」を開催

3. 地域の課題に取り組み、地区センターを拠点とした地域交流・支援活動を展開する。

- ・地域ケアプラザや地区社協と協働して、ハートプランの実現を推進する。
- ・家庭防災員等との協働による防災・減災につながる体験学習、防災講座などの実施
- ・戸塚中学校生徒会の被災地中学校との交流活動支援
- ・地域のボランティアを地区センターが育成（地区社協と協働の車いす体験講座など）

イ 踊場地区センターの利用者数は年間約20万人前後を推移しています。今後も利用者目標数を20万人とし、充実したサービスを提供しつつ、新規利用者の掘り起こしにも努めていきます。

1. ホームページの刷新、ブログ、SNSを活用したweb広報などによる情報発信力の強化
(自主事業広報、施設予約・空き情報照会、最新トピックスなど)

2. プレイルームの有効利用→スタッフによる絵本読み聞かせ、近隣保育園による子育て相談

3. 運動習慣を身につけることを目的とした週3回の「朝のストレッチ体操」

4. 各部屋（特に和室、料理室）の特徴を活かした自主事業の積極的な展開と団体利用促進
(親子茶の湯体験、男性向けパンづくり教室など)

5. 料理室における時間帯を限定した利用料金の割引の実施

6. 地域の配食サービスグループと協働での高齢者向け朝食会、昼食会の開催

7. 新規利用者の掘り起こしを目的に、人と人とが繋がることを意図した娯楽(共有)スペースでのフリープログラム「交流サロン」※の定期的な開催 ※詳細は自主事業別計画書参照

8. 「交流サロン」開催時の物販・飲食物の提供

(「交流サロン」の時間に合わせた福祉施設によるパンやコーヒーの販売など)

(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について(※地区センターのみ該当)

ウ

踊場地区センターでは、利用される方に施設の維持・管理という公共の一端を担っていただくとともに、多様化する市民ニーズや施設の老朽化に的確に応えつつ、充実した事業を引き続き行うことを目的として、横浜市地区センター条例に基づき、下記の通り利用料金を設定しています。

【利用料金表】 1時間帯(3時間) ※料理室は1時間帯(2時間)

部屋	時間区分	中会議室	小会議室	料理室	工芸室	音楽室	和室	体育室
料 金	1時間帯 (3時間)	1020円	480円	★520円 2時間分	630円	780円	570円	730円 (1面)
	延長 1時間分	340円	160円	260円	210円	260円	190円	

*体育室2面、3面は割合に応じた料金となります。

*音楽室の通信カラオケ使用料 1回220円となります。

★料理室における時間帯限定料金割引の実施

料理室については、午後・夜間の稼働率向上を目的として、13:00以降の時間帯利用料金を450円(2時間)に割引します。

★料理室と他の部屋とのセット利用料金の設定

料理室の利用について、他の部屋と同時間で合わせて利用する場合や、料理室利用後に他の部屋を利用する場合は、どちらの利用料金からも料金の15%以内の割引をしたセット料金を設定し、利用を促します。

★料理室と自由に行き来ができる小会議室と合わせた利用や、音楽室との組み合わせの利用例など、ユニークな内容の利用パターンをセンターニュースや掲示板等で提案・紹介し、料理室の稼働率を上げていきます。

(4) 施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- オ 利用者サービス向上の取組
- カ ニーズ対応費の使途について (※地区センターのみ該当)

エ 踊場地区センターでは、地域との関係づくりや利用者の方々との積極的な関わりを通して、地区センターに関するご意見や要望を収集し、運営に反映させていきます。

1. 地域の自治会・町内会・PTA等の構成員からなる運営委員会からの、運営に関する意見やニーズの把握
2. 地区センターの管理・運営が地域住民の声を反映しているか、また区政運営方針に従っているか、運営委員会がその方向付けをする役割を担う。
3. ロビーワークを基本とした、利用者の方々との積極的な関わりを通じた聞き取り、問いかけ
4. 横浜市や戸塚区、他のカルチャー教室からの情報収集による新規取組みの自主事業への反映
5. アンケートによる自主事業企画、図書コーナー充実への反映
6. 利用者会議、ご意見箱の活用を通しての苦情対応や意見などの共有と協議

オ まず何よりもすべての人が利用しやすい施設環境づくりを心がけ、地域の方々や利用者のニーズを柔軟に反映していく地区センターの運営に努めていきます。

1. ホスピタリティマインドを重視し、全ての来館者に対して積極的にスタッフから挨拶
2. 利用者ニーズを反映して、日・祝日は18:00まで開館
3. 施設の安全確認と巡回を兼ねた、スタッフによる時間毎の施設利用者人数のカウント
4. 団体利用の優先枠を最小限にし、利用希望が高い場所(部屋)は公開抽選会にて決定
5. 一年間を通しての魅力ある多彩な自主事業の展開
6. 自主事業、イベント等実施時に地域からのボランティアを活用した託児システム
7. ヨコハマ3R夢(ゴミ減量、リサイクル)の啓発を目的としたゴミ箱の設置
8. 地域からの強い要望などがある場合、戸塚区と協議の上、時間外にも施設を開放する。

(→2012年度 夏 深夜 ロンドンオリンピックなでしこジャパン サッカーパブリックビューイングを開催)

カ ニーズ対応費の使途として、主なものは新聞・図書購入費、通信カラオケ費用、体育室貸出用備品、料理室備品、娯楽室備品となりますが、それ以外にも下記の内容について、ニーズ対応費を充当していきます。

1. 地域のスポーツ推進委員協議会との協議による地域のスポーツ普及のために必要となる備品の購入
2. 日曜・祝日の延長開館時間分のパートスタッフ人件費の1年間分の総額
3. イベント等の開催内容による装飾や備品、記念品等準備にかかる費用
4. 人と人とが繋がることを意図したプログラム「交流サロン」に必要な利用備品の購入
5. 新規プログラムの開発、研究等にかかる費用

(5) 自主事業計画

1. 自主事業の基本的な考え方

これまで踊場地区センターでは、地区センターの有効な広報手段としてとらえ、YMCAの持つ事業のノウハウを活かして、また地域の方々の新たな交流の場の提供として多彩な自主事業を積極的に展開してきました。今後は地域の期待・要望に応えるような新たな活動企画を創設し、地域とともに歩む地区センターづくりを目指していきます。

①プログラム企画・開発

・豊富なキャリアを持つパートスタッフによる自主事業企画委員会

②子育て支援

・親子の居場所づくり(体育あそび、英語あそび、リトミック、親子でおやつ作り)

③健康づくり

・高齢者の介護予防、健康づくりのための「脳から鍛える健脳体操」「腰痛予防教室」
・ストレス社会に対応した「こころとからだのリラクゼーション」「からだにやさしいヨガ」
・体育室でだれでも参加できる朝のストレッチ体操の実施(週3回火・木・土に開催)

④部屋の特徴を生かした対象別企画

・親子茶の湯体験、男のパンづくり教室など
・陶芸窯を利用した陶芸教室、親子陶芸教室

⑤地域コミュニティの醸成に重点を置いた交流の場の提供

・高齢者が男女ともに楽しく憩える企画「歌のひろば」の実施
・地域の配食サービスグループとの協働による高齢者向け朝食会、昼食会の開催

⑥地域の要望に基づいた新たな活動企画の創設

・新住民向けウェルカム講座、地域魅力発見隊づくり
・親子ふれあい広場、子どもと高齢者とのふれあい会
・高校生による中学生向けシンポジウム

⑦来館者の活性化を図り、地域とともにつくりあげるイベント

・運営委員会や連合町内会が中心となって開催する大規模な「地区センターまつり」
・平和教育と国際理解を地域とともに考えることをテーマにした「ピースカフェ」

⑧防災、減災に関する取り組み

・地域の家庭防災員との協働による体験学習、防災講座
・防災、減災の意識向上につながる内容の映画上映会 など

2. 自主事業別計画 *詳細は別紙計画書参照

3. 地域との関係づくりや地域支援活動の実践

- ①地域ケアプラザや地区社協と協働し、地域福祉保健計画(ハートプラン)の支援拠点となる。
- ②踊場地区スポーツ推進委員協議会との協力による夏休みラジオ体操の実施
- ③スポーツ推進委員との協働による水上安全教育を意図した小学校での夏休み水泳指導
- ④地域ボランティアの育成(近隣学校の子どもたちとの被災地支援街頭募金活動、車いす体験など)

4. 自主事業の研究事項(新たな取り組みについて)

・夕方以降の小学生の居場所づくり(児童館の機能を地区センターが持つ)を研究する。

(6) 施設の維持管理計画

項目	業務	内容	実施月
電気・機械設備	設備巡視点検	設備巡視点検	毎月
	空調機保守・排風機保守点検 及び冷暖房機器保守点検	空調機フィルター清掃	5,8,11,2月
	電気設備点検(高圧受電以上)	巡視点検(偶数月)	隔月
	電気工作物保安管理	年次点検	6月
建物等	消防用設備点検	定期点検	6,12月
	昇降機点検	定期点検	毎月
	自動ドア点検	定期点検	5,8,11月
	機械警備点検	機械警備	
清掃等	清掃業務	床清掃(洗浄・ワックス) カーペット(洗浄)	原則奇数月
		全館ガラス清掃	5,8,11,2月
		体育室 洗浄・ワックス(10・1月)	毎月
		1F エントランスカーペット(洗浄)	偶数月
		照明器具清掃	12月
		厨房ダクト・換気扇清掃 グリストラップ清掃	4,7,10,1月
		ドラムトラップ清掃	毎月
		外溝清掃	5,11月
	植栽剪定・草刈	除草、剪定	6,9,11月
	害虫駆除	害虫駆除	6,12月

各部屋及びトイレの日常清掃はスタッフがこれにあたります。

特に、プレイルームはスタッフが毎日オスバン消毒を行います。

施設維持に関しては、安全・清潔を第一に考えていきます。

早期発見・早期対応を心がけます。

★踊場地区センターは10年が経過し、施設の老朽化、経年劣化が進行しています。利用者の利便性を図るために、施設の維持管理については、戸塚区と協議しながら進めていきたいと考えています。

(7) 収支計画(収入計画)

ア 収入計画の考え方について

イ 増収策について(※地区センターのみ該当)

ア 収入計画について、横浜市からの指定管理料、施設利用料金収入、自主事業による収入、その他が主な収入となります。指定管理料以外の収入についての詳細は下記の通りです。

1. 利用料金について

- ・年間利用者数の目標を20万人とする。
- ・3時間(料理室は2時間)1コマの利用料金制度を維持し、利用団体にわかりやすい利用料金体系を継続するために、日曜祝日の閉館時間は1時間延長して午後6時とする。
- ・自主事業との連動による適正な稼働率の増加
- ・料理室の稼働率アップのための時間帯限定割引やセット料金などの新たな設定

2. 自主事業について

- ・年間を通しての地域のニーズを反映した多彩な自主事業の展開
- ・受益者負担の考え方に基づいた適正な参加料金の設定

3. その他

- ・コピー、飲料、陶芸材料販売については、利用者へのサービスととらえる。
(予算化はするが、利益を上げることを目的としない)

イ 指定管理者制度の目的は、「多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、市民サービスの向上と経費の削減等を図ること」とされています。そのことから単にコストを削減するのではなく限られたコストを有効に活用し、住民サービスの質を上げるという観点にたった企画を提案していくべきであると考えます。単に数字の上での収入増を図るのではなく、運営の質をどう高めていくかを常に検討していきます。

1. 利用団体の予約状況、各部屋の空き情報、空き時間帯などの情報発信と利用者への告知
2. 料金未納などによる部屋の未使用を防ぐことによる稼働率の適正な増加
3. 各部屋の特徴を活かした自主事業による団体の利用促進
4. 自主事業からサークル化支援と、サークル化後の団体利用促進
5. 質の高い適正価格の自主事業による、増収及び地域住民の満足度向上
6. 従来よりも長期間にわたる定期的な自主事業講座開催による増収

(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

ウ 踊場地区センターは開設から10年が過ぎ、施設の老朽化・経年劣化などが徐々に進行しています。また気象状況の変化等により光熱水費が計画通りに推移しないことも増えてきました。支出計画においては、特に修繕費や光熱水費において、突発的な発生などにも対応できる支出計画が必要と考えます。

しかし一番重要なことは、住民サービスの質の維持であると考えます。安全で清潔な施設管理を目指すとともに、早期発見・早期対応に努め、経費の削減を前提とした上での高いコストパフォーマンスを目指していきます。

1. 利用者へのサービスを目的とした、人件費の現在水準の維持
(年間利用者数目標20万人超に対応)
2. 自主事業費企画段階での支出項目の精査
3. 体育室の利用率が高いことによる、貸出備品の耐久性向上のための利用者への呼びかけと工夫
4. 定期的な館内巡回による破損、修繕などの早期発見と対応
5. とつかエコライフ事業の啓発につながる自主事業での取り組みや、節水、節電、省エネ効果の館内告知の実施
6. 節約可能な項目(会議賄い費・消耗品費・印刷製本費など)における、再利用・ペーパーレス化などの工夫

なお 事業所税・消費税等は横浜YMCAにて負担します。

踊場地区センター自主事業計画書

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
子育て支援① のびのび親子ランド1歳児	1歳児と保護者	156,000	48,000	108,000	120,000	36,000	0
	30組×12回						
	300						
子育て支援① のびのび親子ランド2・3歳児	2・3歳児と保護者	156,000	48,000	108,000	120,000	36,000	0
	30組×12回						
	300						
子育て支援② リトミック親子ランド2・3歳児	2・3歳児と保護者	156,000	48,000	108,000	120,000	36,000	0
	30組×12回						
	300						
子育て支援③ イングリッシュ親子ランド	2・3歳児と保護者	156,000	48,000	108,000	120,000	36,000	0
	30組×12回						
	300						
子育て支援④ 親子で楽しく!おやつ作り	2歳~未就学児親子	36,000	0	36,000	15,300	20,700	0
	10組×12回						
	300						
子育て支援⑤ おはなしたいむ	一般	0	0	0	0	0	0
	20名×12回						
	無料						
子ども・青少年交流① キッズクラブ	5歳以上	54,000	0	54,000	20,400	33,600	0
	15名×12回						
	300						
子ども・青少年交流② 子どもクッキング	小学生	72,000	0	72,000	20,400	51,600	0
	12名×12回						
	500						
子ども・青少年交流③ 親子陶芸教室	一般	40,000	30,000	10,000	20,000	20,000	0
	5組						
	2,000						
子ども・青少年交流④ 夏休みだ! ドッチビーで遊ぼう!	小学生	3,000	0	3,000	1,700	1,300	0
	30名						
	100						
子ども・青少年交流⑤ 楽しいイースターエッグ	小学生以上	3,000	0	3,000	1,700	1,300	0
	10名						
	300						
子ども・青少年交流⑥ アクティブキッズ	5歳~小学生	30,000	0	30,000	20,000	10,000	0
	15名×4回						
	500						
合 計		862,000	222,000	640,000	579,500	282,500	0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

踊場地区センター自主事業計画書

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
こども・青少年交流① ふしぎ発見理科ひろば	小学3～6年生	33,600	0	33,600	4,000	24,000	5,600
	24名×2回						
	700						
健康づくり① 朝のストレッチ体操	一般	0	0	0	0	0	0
	定員なし						
	0						
健康づくり② 脳から鍛える健脳体操	一般	420,000	240,000	180,000	360,000	60,000	0
	25名×24回						
	300						
健康づくり③ 腰痛予防教室	一般	150,000	75,000	75,000	150,000	0	0
	25名×10回						
	300						
健康づくり④ こころとからだのリラクゼーション	一般	30,000	15,000	15,000	30,000	0	0
	15名×2回						
	500						
健康づくり⑤ からだにやさしいヨガ	一般	82,500	0	82,500	55,000	27,500	0
	15名×11回						
	500						
健康づくり⑥ ソフトバレーボール大会	一般	18,000	0	18,000	0	18,000	0
	18チーム×2回						
	500						
生涯学習① 目からウロコの基礎英会話	一般	55,000	0	55,000	40,000	15,000	0
	11名×10回						
	500						
生涯学習② 焼きたてパン講座	一般	82,800	0	82,800	15,000	67,800	0
	12名×3回						
	2,300						
生涯学習③ 手作りお菓子でおもてなし	一般	36,000	0	36,000	10,000	26,000	0
	12名×2回						
	1,500						
生涯学習④ 手作り味噌を食卓に	一般	47,400	0	47,400	5,000	42,400	0
	12名×1回						
	3,950						
生涯学習⑤ 陶芸教室	一般	100,000	60,000	40,000	40,000	60,000	0
	10名×2回						
	2,000						
合 計		1,055,300	390,000	665,300	709,000	340,700	5,600

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

踊場地区センター自主事業計画書

(様式3-3)

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
生涯学習⑥ 楽しいちぎり絵	一般	12,000	0	12,000	5,000	7,000	0
	15名						
	800						
生涯学習⑧ 布ぞうりをつくりませんか	一般	7,700	0	7,700	2,000	4,700	1,000
	11名						
	700						
地域支援① 地域交流プログラム	一般	15,000	15,000	0	0	0	15,000
	100名						
	0						
地域支援① 交流サロン(おどりばサロン)	一般	60,000	60,000	0	12,000	36,000	12,000
	20名×12回						
	0						
地域支援② 高齢者向け朝食会・昼食会	一般	84,000	24,000	60,000	0	60,000	24,000
	10名×12回						
	500						
国際理解① 国際交流	一般	10,000	0	10,000	5,000	5,000	0
	20名						
	500						
国際理解② ピースカフェ	一般	30,000	0	30,000	0	15,000	15,000
	150名						
	200						
防犯・防災① 普通救急救命講習	一般	15,000	0	15,000	0	0	15,000
	15名						
	1000						
防犯・防災② 防災関連講座	一般	15,000	15,000	0	0	0	15,000
	100名						
	0						
イベント① 地区センターまつり	一般	0	0	0	0	0	0
	1,200名						
	0						
イベント② クリスマスに際るコンサート	一般	60,000	0	60,000	30,000	15,000	15,000
	200名						
	300						
イベント③ スプリングフェスティバル (利用団体発表・展示会)	一般	14,000	14,000	0	0	0	14,000
	200名						
	0						
合 計		322,700	128,000	194,700	54,000	142,700	126,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

総合計	2,240,000	740,000	1,500,000	1,342,500	765,900	131,600
-----	-----------	---------	-----------	-----------	---------	---------

踊場地区センター自主事業別計画書(単表) - (1)

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援① のびのび親子ランド	<p>★少子社会における母親(父親)の孤立・ひきこもりを防ぐために、親同士のネットワーク、スモールコミュニティを形成する。</p> <p>対象：1歳児、2・3歳児とその保護者 親子で楽しく体育遊び、体操、リズム体操、器械遊びなどを行います。</p> <p>*6ヶ月から就学前のお子様対象にボランティアによる託児もあります。</p>	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援② リトミック親子ランド	<p>★少子社会における母親(父親)の孤立・ひきこもりを防ぐために、親同士のネットワーク、スモールコミュニティを形成する。</p> <p>対象：2・3歳児とその保護者 親子で楽しくリズム遊びをはじめ、工作なども行います。</p> <p>*6ヶ月から就学前のお子様対象にボランティアによる託児もあります。</p>	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援③ イングリッシュ親子ランド	<p>★少子社会における母親(父親)の孤立・ひきこもりを防ぐために、親同士のネットワーク、スモールコミュニティを形成する。</p> <p>対象：2・3歳児とその保護者 親子で楽しく歌やお遊戯、ゲームなどを通じて英語に触れてみます。</p> <p>*6ヶ月から就学前のお子様対象にボランティアによる託児もあります。</p>	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援④ 親子で楽しくおやつ作り	<p>★少子社会における母親(父親)の孤立・ひきこもりを防ぐために、親同士のネットワーク、スモールコミュニティを形成する。</p> <p>対象：2歳～未就学児親子 親子で簡単なおやつを手作りして、みんなで楽しくいただきます。</p>	毎月開催

踊場地区センター自主事業別計画書(単表) - (2)

団体名 財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援⑥ おはなしタイム	★少子社会における母親(父親)の孤立・ひきこもりを防ぐために、親同士のネットワーク、スモールコミュニティを形成する。 対象：1歳～未就学児親子 地区センタースタッフによる絵本の読み聞かせです。	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども・青少年交流① キッズクラブ	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：5歳以上～小学生 地区センタースタッフとボランティアによるリサイクルしたものを使用する楽しいものづくり体験です。	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども・青少年交流② こどもクッキング	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：5歳以上～小学生 地区センタースタッフとボランティアと共に料理をつくることで、食育にもつなげていきます。	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども・青少年交流③ 親子陶芸教室	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：小学生以上の親子 夏休みのひととき、親子で土と向き合い、陶芸を体験します。	年1回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（3）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども・青少年交流④ 夏休みだ！ドッチビーで遊ぼう	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：小学生 布素材のディスクを使い、安全で手軽に楽しめるドッチビーで、夏休みのひとときを過ごします。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども・青少年交流⑤ 楽しいイースターエッグ	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：小学生以上 卵にきれいな飾りつけをし、イースターエッグを作り、楽しめます。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども・青少年交流⑥ アクティブキッズ	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：5歳～小学生 普段あまり体験することのないスポーツや、物作り、料理などにチャレンジしてみる企画です。 (空手、茶道、料理、フラダンスなど)	年4回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども・青少年交流⑦ ふしぎ発見理科ひろば	★さまざまな体験を通して、こども・青少年世代が交流し、新たな可能性の発見をする機会とする。 対象：小学3年～6年 科学や電気などの実験や工作を通して、理科の楽しさを知ってもらう機会とします。	年2回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（４）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり① 朝のストレッチ体操	★高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図る。 対象：一般 地区センタースタッフによる運動習慣を身につけるためのストレッチワンポイントアドバイス。	週3回開催 火・木・土

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり② 脳から鍛える健脳体操	★高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図る。 対象：一般 高齢者が生涯自力で日常生活の動作ができるような、筋力作り・骨作り・脳の活性化を実現する為の脳刺激体操を個々の体力に合わせて行います。	毎月2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり③ 腰痛予防教室	★高齢社会における介護予防、生活予防のための体力維持・増進を図る。 対象：一般 ストレッチによる身体のほぐしと筋力アップ、痛みの原因でもある体の歪みを改善するトレーニングです。	年10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり④ こころとからだのリラクゼーション	★ストレス社会における生活予防のための健康維持・体力増進を図る。 対象：一般 リズム体操やストレッチなどからだを動かすことによるリラクゼーションの方法を紹介し、セルフコントロールができるような有酸素運動に取り組みます。	年2回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（５）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり⑤ からだにやさしい ヨガ	★ストレス社会における生活予防のための健康維持・体力増進を図る。 対象：一般 初心者向けの椅子に座って行う機能改善ヨガです。	年11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり⑥ ソフトバレーボール大会	★地域に向けて、さまざまな世代の人が楽しめるレクリエーションスポーツ大会を開催。 対象：一般 戸塚地域で愛好者の多い、柔らかいゴムボールを使用したバレーボール大会を開催します。	年2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習① 目からウロコの基礎英会話	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 中学生で習う程度の内容で、日常英会話ができるようになる学習です。	年10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習② 焼きたてパン講座	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 焼きたてパンでランチを楽しむ初心者のためのパン講座です。	年3回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（6）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生涯学習③ 手作りお菓子でおもてなし	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 おもてなしにピッタリのお菓子づくりで、おいしさアップのためのワンポイントを教える講座です。	年2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習④ 手作り味噌を食卓に	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 食の安全にこだわる今、手作り味噌で自然の味を手作りしてみる講座です。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習⑤ 陶芸教室	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 創る喜び、使う楽しみを兼ね備えた、初心者にも丁寧に指導する陶芸講座です。	年2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生涯学習⑥ 楽しいちぎり絵	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 日本の素晴らしい伝統文化である和紙にふれて、いろいろな種類の和紙でちぎり絵を楽しみます。	年1回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（7）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生涯学習⑧ 布ぞうりをつくりませんか	★生活に活かしたいこと、趣味として楽しみたいこと、いきいきとしたライフスタイルを形成することを目的に開催。 対象：一般 布を使って、家で使うスリッパ代わりに布ぞうりを作ります。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援① 地域交流プログラム	★地域に向けて、地区センターの新規利用者の掘り起こしを目的に、気軽に参加でき、新たな交流の場を提供する。 対象：一般 地域の要望に基づいた新たな活動企画を創設します。 夏休みラジオ体操、新住民ウェルカム講座、地域魅力発見隊づくりなど	不定期開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援② 交流サロン（おどろばサロン）	★地域に向けて、地区センターの新規利用者の掘り起こしを目的に、気軽に参加でき、新たな交流の場を提供する。 対象：一般 午前中の娯楽スペースを解放し、テーマに沿った催しに参加したり、お茶を飲みながら自由に過ごし、交流します。 （テーマ別の催し：新茶試飲会、牛乳パックでペン立て作り、血圧測定など）	毎月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援③ 地域の高齢者向け朝食会、昼食会	★地域に向けて、地区センターの新規利用者の掘り起こしを目的に、気軽に参加でき、新たな交流の場を提供する。 対象：一般 地域の配食サービスグループと協働で地域の独居高齢者などの交流機会として、朝食会や昼食会を開催します。	年12回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（８）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
国際理解① 国際交流	<p>★世界が抱えている様々な状況を踏まえて国際理解、平和教育の視点で地域とともに考える機会とする。</p> <p>対象：一般 横浜市国際学生会館と共催で、各国の留学生を迎え、歴史・文化を学び異文化理解を深めます。 2006年より開催。（ブルガリア、チェコ、ロシア、ヨルダン、ベトナム、韓国など実施）</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
国際理解② ピースカフェ	<p>★世界が抱えている様々な状況を踏まえて国際理解、平和教育の視点で地域とともに考える機会とする。</p> <p>対象：一般 戦争や紛争、原爆、人権など国内外の支援団体の紹介、募金活動、支援活動従事者による講演会など、様々な展開をカフェ形式で実施します。</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防犯・防災① 普通救急救命講習	<p>★地域に向けて、災害や事故など、日常生活の中での「もしもの時」に備えることを目的に開催。</p> <p>対象：一般 戸塚消防署にご協力いただき、心肺蘇生法、AEDの操作方法を学ぶ講習会を開催します。</p>	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防犯・防災② 防災関連講座	<p>★地域に向けて、災害や事故など、日常生活の中での「もしもの時」に備えることを目的に開催。</p> <p>対象：一般 地域の家庭防災員などと協力して、防災に対する体験学習や映画上映会などを行い、地域の防災・減災の意識を高めていきます。</p>	年1回開催

踊場地区センター自主事業別計画書（単表）－（９）

団体名 公益財団法人 横浜YMCA

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
イベント① 地区センターまつり	★地区センターの利用者へのサービス、ご利用に対する感謝として年間を通じてイベントを行い、来館者の活性化を図る。 対象：一般 運営委員、近隣学校、地域の諸団体とともにを行う地区センター最大の行事です。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イベント② クリスマスに贈るコンサート	★地区センターの利用者へのサービス、ご利用に対する感謝として年間を通じてイベントを行い、来館者の活性化を図る。 対象：一般 地域の方々とクリスマスを祝うとともに、上質な音楽を提供し、楽しんでいただきます。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イベント④ スプリングフェスティバル	★地区センターの利用者へのサービス、ご利用に対する感謝として年間を通じてイベントを行い、来館者の活性化を図る。 対象：一般 普段地区センターを利用いただいている団体による発表会、展示会を開催します。	年1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数

単独団体名・共同事業体名	公益財団法人 横浜YMCA
施設名	踊場地区センター

平成26年度収支予算書(兼指定管理料提案書)

I. 指定管理料 (単位:円)

提案額(a) (消費税及び地方消費税を含む)	34,525,000
---------------------------	------------

指定管理料=小計【イ】を記入
※区指定上限額(b)の範囲内で提案してください。

※区指定上限額(b)	34,525,000
------------	------------

差引(a)-(b)	0
削減率(a)/(b)	100.0%

II. 平成 26 年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
利用料金収入 [A]	3,450	
自主事業収入 [B]	1,500	
雑入 [C]	800	
小計【ア】(A)+[B]+[C]	5,750	運営費収入の計
指定管理料① [D]	33,375	【ウ】-【ア】
指定管理料②(ニーズ対応費分) [E]	1,150	[A]×1/3
小計【イ】(D)+[E]	34,525	指定管理料の計
収入合計((A)+(イ))	40,275	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
人件費 [a]	26,046	
事務費 [b]	1,670	
自主事業費 [c]	740	
管理費A(光熱水費等) [d]	4,555	
管理費B(保守管理費等) [e]	5,964	
公租公課 [f]	50	
事務経費 [g]	100	
小計【ウ】(a)+[b]+[c]+[d]+[e]+[f]+[g]	39,125	施設管理費等の計
ニーズ対応費 [h](=[E])	1,150	[E]と同額になります。
小計【エ】(h)	1,150	ニーズ対応費の計
支出合計((ウ)+(エ))	40,275	

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益財団法人 横浜YMCA
施設名	踊場地区センター

平成26年度収支予算書

1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
利用料金収入	音楽室	780円×1200コマ	ア	936
	体育室	1面730円×1300コマ	イ	949
	会議室	1500円×600コマ	ウ	900
	和室	570円×300コマ 450円×100コマ	エ	216
	料理室	520円×390コマ	オ	203
	工芸室	630円×390コマ	カ	246
			キ	
			ク	
			ケ	
		小計		【A】
自主事業収入	子育て支援	親子ランド・英語で遊ぼう・リトミック	コ	468
	こども・青少年交流	キッズクラブ、こどもクッキング、親子陶芸教室	サ	206
	健康づくり支援	健脳体操・からだにやさしいヨガ	シ	370
	生涯学習支援	薫膳・英会話・ちぎり絵・料理関係など	ス	281
	その他	地域交流・普通救命講習・国際交流 その他イベント等	セ	175
		小計		【B】
雑入	飲料自動販売機	2台	ソ	400
	コピー機収入	コピーサービス(1枚10円)	タ	220
	陶芸材料	陶芸用粘土を1キロ 600円換算で販売(立替払い)	チ	180
			ツ	
			テ	
			ト	
		小計		【C】
小計【ア】		施設運営収入計		【A】~【C】

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益財団法人 横浜YMCA
施設名	踊場地区センター

平成26年度収支予算書

2 支出の部内訳(ニース対応費除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
人件費	常勤職員	給与、賞与、通勤費、社会保険料、健康診断費、退職引当金	ア 14,698	
	時給スタッフ	時給+通勤費	イ 11,350	
			ウ	
	小計		[a] 26,046	ア~ウ
事務費		交通費、消耗品費、備品費、印刷費、通信費	[b] 1,670	
自主事業費			[c] 740	
管理費A	電気料金		エ 2,420	
	ガス料金		オ 1,495	
	上下水道料金		カ 640	
	小計		[d] 4,555	
管理費B	修繕費		キ 600	
	清掃		ク 2,390	
	消防設備		ケ 178	
	機械整備		コ 630	
	空調設備	GPS保守、料理室設備、空調関係	サ 410	
	エレベーター		シ 630	
	自動ドア		ス 63	
	電気保守管理点検	年次1回、隔月6回	セ 441	
	非常用放送設備	消防設備に含む	ソ	
	害虫駆除		タ 113	
	植栽管理		チ 324	
	設備総合巡視点検		ツ 105	
	その他	管理者賠償保険、車両保険、行事保健	テ 80	
			ト	
			ナ	
		ニ		
小計		[e] 5,964	キ~ニ	
公租公課		[f] 50		
事務経費	(労務、経理、契約、職員研修など)	[g] 100		

小計【ウ】	施設管理運営経費計	39,125	[a]~[g]
-------	-----------	--------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。
(各内訳には課税取引分の消費税及び地方消費税額を含んだ金額を記載、公租公課欄には仕入税額控除後の見込額を計上)